



県議会議員 上野たかし
市議会議員 加増みつ子、遠山ちえ子
関戸 勇、小池えつ子

明るい取手

2017年7・8月
発行：日本共産党取手市委員会

◆日本共産党の見解を紹介します。
302-0011 茨城県取手市井野3-19-5
☎ 72-7816 Fax 72-7817
http://toride.jcpweb.net

都議選での審判 安倍自民の歴史的な大敗 日本共産党 議席・得票数伸ばす

7月の都議選で、日本共産党は前回得票より19万票増やし、2議席増の19議席、得票率14.7%へと躍進しました。「都民ファーストの会」は49議席（選挙後55議席に）で第1党となりました。

小池都知事が立ち上げた新しい党が誕生する難しい条件の下、日本共産党が19議席を獲得したことは重要な躍進です。

今回の選挙では、他の政党や無所属議員などから「平和と福祉の共同候補」として共産党候補への支

援が広がる等、新たな情勢の変化が浮き彫りとなりました。

自民党は57議席から23議席への歴史的な大敗は、安倍政権の国政私物化や共謀罪の強行成立、9条改憲の策動等に対し、「もう我慢がならない」との怒りが広がり、首都東京から厳しい審判が下された結果です。

野党共闘を一層発展させ、解散総選挙に追いこみ、安倍政権を倒し自民党政権を終わらせるときです。

都議選 2017年と2013年の比較						
	2017年				2013年	
	当選者数	改選時	得票数	得票率	得票数	得票率
共産党	19	17	773,722	14.73	579,883	13.56
自民党	23	57	1,260,100	22.53	1,633,302	36.04
民進党 (民主党)	5	7	385,752	10.23	404,944	13.08
公明党	23	22	704,266	17.82	639,160	19.53
維新	1	1	54,016	4.74	88,671	9.34
都民ファースト	49	6	1,884,029	33.68		

※党派別当選者合計は127名。

その他、ネット1名（改選時3）、社民0（改選時0）、無所属6名（改選時1）。



核兵器禁止条約の採択が決まった瞬間に立ち上がって拍手する各国政府代表ら＝7日、ニューヨークの国連本部

核兵器の使用や保有などを法的に禁ずる核兵器禁止条約。

7日、ニューヨークの国連本部で開かれていた交渉会議で国連加盟193カ国中122カ国の賛成で採択されました。「核なき世界」を長年訴え続けてきた被爆者や条約推進国の関係者らは喜びに包まれました。

国連のグテーレス事務総長は「核なき世界という共通の願いに向けた重要な一歩」だと歓迎の声明。条約は前文で「核兵器の使用による被害者（ヒバクシャ）と核実験の影響を受けた人々の苦

歴史的な核兵器禁止条約採択

国連会議 加盟国約3分の2 122カ国が賛成

痛と被害に心を留める」とうたい、広島・長崎の被爆者の願いが盛り込まれています。「核兵器は非人道的で使えない」との「悪の烙印」を押し、すでに禁止条約が発効している生物化学兵器や対人地雷、クラスター弾の非人道的兵器と核兵器を同列に並べて核兵器に対する価値観の大転換です。しかし核保有国に同調した日本政府の不参加は、唯一の被爆国としてあるまじき行為です。議員連盟の日本共産党志位委員長も参加し、国連本部で「心から歓迎する」との声明を発表しました。被爆国日本が米国の核の傘から脱却し、条約参加へ国際社会は望んでいます。

6月26日、つくば市内で記者会見した鶴田まこみさん。無所属での出馬表明。



知事選挙は、鶴田まこみさん「いのち輝くいばらきの会」が出馬を表明。6期24年の橋本昌現知事、新人大井川かずひこ氏（自民党推薦）の自民系2人対県民の闘いとなります。

鶴田まこみさんは、東京電力福島原発事故・常

・・・プロフィール・・・

1964年12月生まれ（52歳）
18～28歳まで取手桐木に住む。
イタリア語・イタリア文学講師。
「いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい」発起人。
動物愛護を考える茨城県民ネットワークCAPIN」理事長。
全国動物ネットワーク代表。

鶴田さんと一緒に県政をかえよう 私も力を合わせます



上野たかし県議

知性も、パワーも、暖かさも、持ち合わせた鶴田さんの出馬表明を、こころから歓迎します。鶴田さんは「無駄な大型開発優先をやめ福祉教育充実へと税金の使い方を変える」と訴えています。

だれもが「いのち輝くいばらきに」するため、私も力を合わせ全力を尽くします。

茨城県知事選

8月10日告示
27日投票

いのち輝くいばらきに
出馬表明 鶴田まこみさん

「森友」や「加計」など国政私物化の疑惑 臨時国会開き徹底審議を

7月10日、加計学園をめぐる「国会閉会中審査」（文科・内閣委員会）の連合審査会が、外遊中の安倍首相抜きで、衆・参院で行われました。前川喜平前文科省事務次官が参考人として出席しました。日本共産党は、宮本岳志、田村智子議員が質問しました。政府が根拠を示さずひたすら否定する中、前川氏は「初めから加計学園に決まっており、それが決まるようにプロセスが進んだ」と証言。「背景に官邸の動きがあり、『総理の御意向』と述べた和泉首相補佐官、萩生田官房副長官が開

学を迫った」との認識を示しました。首相側近の首相補佐官や内閣官房参与などが改めて明らかとなりました。

首相出席の集中審議を

日本共産党は、安倍首相が出席する衆・参予算委員会での集中審議と、関係者の証人喚問、真相解明のため和泉首相補佐官など、関係者の証人喚問と安倍首相出席の集中審議を求めました。安倍政権は直ちに応じ、野党4党が憲法53条に基づき要求している臨時国会を開会して一連の疑惑を自ら解明すべきです。

生命を生み出す母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます

第57回茨城県母親大会in取手

1000人のコーラスや各地の運動を報告する大会参加者7月2日、取手一高体育館にて



毎年行われる県母親大会。7月2日、今年は取手市内で約1000名の参加で行われました。子供の貧困、年金、医療、東海第2原発、医療など多岐にわたる15の分科会では、この間の出来事や、運動の取り組み等が交されました。午後には「下流老人」の著者、藤田孝典さんが、「全世代に広がる貧困と格差。私たちにできる事は」と記念講演が行われました。

いじめ問題 子どもの尊厳・教育権 守り育む市の教育を

市立中学3年生女子（2015年当時）の、いじめによる「自死」に関する市長や教育委員会の対応等が、大きく問われた6月市議会でした。

「両親は、2016年2月、事実の解明を求め「いじめ防止対策推進法」が、いじめによる重大事態に義務づけた「第三者調査委員会」の設置を求めました。ところが市教委は、「いじめによる重大事態ではない」と議決した上で、両親にはこの議決内容は知らせないまま「第三者による調査

委員会」を立ち上げました。この間の学校や教育委員会、「調査委員会」等の対応に不信を抱いた両親は、同調査委員会の解消を求めて市教委や文科省に申し入れ。市は文科省の指導を受け「いじめ」と認定し、今年5月「同調査委員会」を解消しました。

しかし、真相解明・教育改革はこれから

教育委員会は「いじめ防止対策推進法をよく理解していなかった」などという市長はもとより、議会

の責任も求められます。

日本共産党は今議会に、「この重大事態を看過してきた議会も責任がある。市長、教育長及び議会が一丸となって事態の解明に尽くすこと。子どもの尊厳を守り、成長を育む学校教育」とする決議案を提出しましたが、賛成少数で否決されました。しかし、他会派提出の「いじめ防止対策推進に関する決議は共産党も賛成し全会一致で可決されました

6月市議会

日本共産党「共謀罪」廃案、森友・加計学園疑惑解明 求める意見書提出

意見書案名	賛成議員氏名	議決等結果
国民の基本的人権を脅かす「組織的犯罪処罰法改正案」（「共謀罪」）の廃案を求める意見書	加増みつ子・遠山ちえ子・関戸 勇・小池えつ子、飯島悠介、池田 慈、竹原大蔵	賛成少数で否決
森友・加計学園疑惑についての真相の徹底解明を求める意見書	加増みつ子・遠山ちえ子・関戸 勇・小池えつ子、飯島悠介、池田 慈、結城 繁	賛成少数で否決

*佐藤清議員は議長のため賛否に加わらず

廃校後の跡地利用

住民の声を生かして

白山西小跡地利用に

民間企業の動き

関鉄・寺原駅南側に新技術研究所を建設中の前田建設は、隣接する白山西小跡地を関連施設に活用を希望。2月以來、取手市との協議が進められています。市はこれまで「コミュニティ」「スポーツ」施設としての活用を検討するとしてきました。説明会も行わないまま民間活用にも動き出した、取手市への批判の声が上がっています。

解体事業費2億 3,000 万円

旧第一中学校

旧一中解体後の跡地は、トップダウンで220名定数の舟山・吉田を統合する保育所を建設予定。7月17日開催の解体工事説明会は、地元説明会と言いつつ、井野団地や八重洲地域は説明の対象外とし案内チラシは配布されていません。除外せず説明をとの日本共産党の要求にも市はかたくなに拒否しています。解体工事で影響を受ける住民への説明も行おうという態度が問われます。

6月議会で問う

取手駅西口開発・自然環境・バリアフリー・安心安全



快適に利用できる取手駅西口駅前広場を

加増みつ子 すでに終わったはずの白山前交差点から四ツ谷橋までの歩道の再整備工事が行われました。まさに無駄な「二重投資」です。一方駅西口前の商業施設建設計画は先行き不透明なままです。「最優先すべきは西口駅前広場の整備と東口構内にエレベーター等の整備だ」と求めました。



双葉地区内交通問題の対策を

遠山ちえ子 一般質問で「牛久沼の自然と共存する地域づくり」を取り上げました。双葉地区内の通過車両による事故が続いており、交通問題対策として、首都圏近郊緑地保全区域内の使われていない水路敷き（新堀）を活用しての道路建設を提案しました。耕作放棄地解消や火災予防にもつながり効果大であり、今後も取り上げます。



大ホール舞台ウラの通路をバリアフリーに

関戸 勇 市民会館大ホール舞台裏のウラ通路は階段です。3月議会に続き6月議会にバリアフリー化を求めた市民の署名付きの陳情が提出されました。出演者が利用する通路の安全確保は大前提です。現地を見て改修は可能と考え採択するよう強く求めましたが賛成少数で不採択となりました。福祉会館小ホール入口のバリアフリー化を求める陳情は採択されました。



安心安全の緊急通報システムは市の責任で

小池えつ子 独居高齢者対象に自宅に設置の緊急通報システムが、4月から民間の警備会社管理に移行しました。利用者からは個人情報管理やプライバシー保護に関して不安や心配、戸惑いの声があがっています。市がこうした声をどのように受け止めているか、どのように把握しているか、保障や責任について質しました。警備会社任せでなく市もしっかりと責任を持って対応することを求めました。